石川県七尾美術館だより

平成29年４月１日発行
編集・発行（公財）七尾美術財団

第89号（春号）

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

長谷川等伯展
～天才絵仏師、みやこを目指す！～

国指定重要文化財
「列仙図屏風」長谷川等伯筆
桃山時代（16世紀）制作　京都市・壬生寺蔵

展覧会紹介

平成29年4月22日(土)～
6月25日(日)
休館日については裏表紙をご覧ください

長谷川等伯展～天才絵仏師、みやこを目指す！～

4月22日(土) ～5月28日(日)
【会期中無休】

◇第1・第2・第3展示室

七尾美術館恒例の「長谷川等伯展」です。

能登国七尾出身の長谷川等伯（1539～1610）は、すでに20歳頃には信春の名で絵仏師として活躍、若い頃から京都を往来し、30歳代中頃に正式に京都へ移住したと考えられています。一時期狩野派に学ぶも、当時一級の文化人たちと交流し、一派を成して豊臣秀吉などの御用を務めました。

さて、シリーズ22回目となる本年は、「天才絵仏師、みやこを目指す！」と銘打ち、《絵仏師信春の活躍》を紹介、そして《上洛…京都での飛躍》、さらに《水墨画の魅力》の3テーマで、当館初公開となる仏画、京都での活躍を紐解く史料などを含めた32点を紹介します。

■絵仏師信春の魅力■

一般的に信春時代の特徴は、美しい彩色、緻密な描写といわれますが、20歳代前半頃の作品は、養父・長谷川宗清や養祖父の可能性もあるとされる無分の影響が色濃く、シックで落ち着いた色調が特徴です。繁栄を誇った当時の能登には、中国の名画などが存在したという記述もあり、そういった作品も実見して学び、腕を磨いたと考えられます。

近年、「等伯はすでに20歳代前半頃に、京都で学んでいたのでは？」という疑問が、「その可能性が高いのではないか」という見方にかわりつつあります。先程述べたように、20歳代前半頃と後半からの作品では、色調や表現の仕方、絵の持つ雰囲気に変化が見られるからです。

ここでは、その両方の作品を、宗清や無分の作品と共に紹介します。絵仏師信春の魅力をお楽しみください。

★最近新発見された等伯と長谷川派の仏画3点を、当館初公開！お見逃しなく。

「鬼子母神十羅刹女像」 1幅
長谷川信春(等伯)筆 富山市・妙傳寺蔵

鬼子母神・十羅刹女は、元は共に鬼神でしたが、後に子どもを守る善神となりました。中央の鬼子母神は穏やかな表情で、左手に赤子を抱き、右手には吉祥果を持っています。等伯は信春時代、同画題作品を4点描いていますが、それぞれ構図などが異なります。画面右下の墨書と印章により、本図は信春32歳の制作と分かります。1人1人細かく描き分け、彩色も丁寧に施されています。左下に小さく描かれた合掌する女性は、この絵を依頼した施主の女性信者だと考えられています。

■上洛…京都での飛躍■

30歳を過ぎて正式に活動の拠点を京都に移した等伯は、本法寺や大徳寺などで次々と活躍していきますが、そこにはどんな後ろ盾があったのでしょう。当時、七尾の生家である奥村家の菩提寺・本延寺の住職や檀那衆が本山・本法寺に出向く際、必ずお世話になる宿坊がありました。本法寺塔頭の教行院です。等伯に関する史料の中に、いくつも「宿坊 教行院」の記載があることは知られていましたが、想像以上に重要な存在だったことが見えてきたのです。

今回初出品の『教行院過去帳』（京都市・教行院）には、等伯をはじめ絵師の長男久蔵や娘婿たち、能登の長谷川派の名前も見えます。等伯が61歳で描いた「大涅槃図」裏表具名で、等伯一族の名前の中央に記されている人物が、キーパーソンともいえる教行院第2世の日受上人です。教行院の初代から6代の住職は、後に加賀藩の御用も務めた、蒔絵師の後藤家から輩出されています。また、本阿弥家は本法寺の檀那ですが、同過去帳からは教行院との繋がりも強かったことが分かります。さらに、等伯の実力を認め、大徳寺や豊臣秀吉にも推薦したとされる千利休や、等伯が最も親交が深かった本法寺第10世・日通上人の出身地、大坂堺との強固な結びつきや、絶大な法華宗のネットワークが見えてきます。

展示室パネルの他、高岡市・大法寺御住職の栗原啓允氏が、図録や講演会で詳しくご紹介してくださいますので、作品と併せてお楽しみください。

国指定重要文化財「日堯上人像」 1幅
長谷川信春(等伯)筆 京都市・本法寺蔵

日堯上人は8歳で本法寺に入寺した同寺第8世で、30歳の若さで逝去しています。画面右下には「父道浄六十五歳」と養父の没年齢が記され、「長谷川帯刀信春三十四歳筆」と墨書されており、等

伯が34歳頃に描いたとされます。本図は天蓋や打敷の文様など、極めて緻密に描写・彩色されており、画技を駆使して描いたことが伝わってきます。

※本図は前期（4／22～5／10）展示、後期（5／11～28）は複製展示。

■水墨画の魅力■

等伯は器用な画家で、着色の仏画や肖像画、金碧の鑑賞画に水墨画など色んな作品を描きましたが、水墨画については、本格的な大作を手掛けたのは50歳近くからではないかと思われます。晩年の等伯は水墨画に美の境地を求め、筆・墨と水を自由自在に使い分け、国宝「松林図屏風」（東京国立博物館）や数々の名作を生み出していきました。

ここでは、水墨の様々な表情をお楽しみください。

七尾市指定有形文化財「猿猴図屏風」2曲1隻
長谷川等伯筆　当館蔵

本図は平成27年春、所蔵先の京都造形芸術大学で、新発見の等伯水墨画として「松竹図屏風」と共に記者発表され、その夏に七尾市が購入、同年秋には当館で初展示した作品です。等伯が好んで描いた人気の牧谿様の猿であり、また、朽ち果てる寸前で修復されてよみがえったことから、まだまだ全国から注目されています。残念ながら右上の母猿の肩に乗る子猿は欠損していますが、笑う子猿を想像しながらこの親子猿に、等伯と26歳という若さでなくなった息子久蔵の姿を重ねて見てはいかがでしょうか。

「十六羅漢図屏風」
6曲1双内右隻
長谷川等伯筆
京都市・智積院蔵

羅漢とは釈尊の弟子にあって永く世に住し、仏の教えを護持する尊者とされます。本図は水墨を基調に一部淡彩が施された6曲1双屏風の右隻で、落款から等伯最晩年71歳の制作とされます。8人の羅漢や、異形の従者、龍や虎などが、特異な姿ながら軽妙なタッチで描かれています。要所に刷かれた金泥も明るい雰囲気を与え、羅漢たちの自由自適な様子がなんとも楽しく表現されています。

「羅漢図屏風」2曲1隻　長谷川左近（等重）筆

同じく羅漢を描いた作品です。2曲1隻の1扇ずつに、それぞれ1人の羅漢が描かれています。おそらく、元々は16人の羅漢を描いた「十六羅漢図屏風」であったと考えられますが、他の部分の有無や所在は不明です。各扇に「長谷川」と「等重」の印が捺され、等重と名乗った等伯の4男・左近の筆と分かります。金沢市・大乗寺には掛軸の左近筆「十六羅漢図」が現存します（現存は12幅）が、中国の貫休筆「十六羅漢図」の影響が大で、あまり長谷川派の特徴は見られないのに対し、本図の斧で割ったような岩の表現は、まさに長谷川派の特徴です。

等伯展関連催し♪

特別講演会（聴講無料）

日時：4月29日（土・祝）午後2時より
会場：当館アートホール
講師：栗原啓允 氏（高岡市大法寺御住職）
演題：「等伯と法華宗をめぐる人々」
☆ご聴講の方全員に、等伯関連絵ハガキを1枚プレゼントします。

等伯子どもなんでもクイズ（参加無料）

会期中随時、展示室で小中学生対象の子どもクイズを開催。挑戦して君も〝等伯博士〟になろう！
☆全問正解者の中から抽選で、等伯関連グッズをプレゼントします♪

◇観覧料

	個人	団体
一般	800円	700円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「第73回現代美術展 七尾展」

6月2日(金) ～25日(日)

◇第1・第2・第3展示室

「現代美術展」は、主に日本芸術院会員や人間国宝を筆頭とした県内の作家や、美術愛好家たちが出品する公募展であり、今回で73回目を迎えます。

終戦2日後の昭和20年8月17日、石川県では早くも地元作家が中心となり、美術界の再起を図るべく、美術展の開催に向けて動き始めました。敗戦の影響が色濃く残る混乱期に、その行動力をもって同年10月11日には石川県美術文化協会を設立、翌12日に開館した石川県美術館を会場に「第1回現代美術展」を開催するというように、彼らは当初の目標を成し遂げました。

「美術文化の向上による新日本建設への寄与」をスローガンに掲げた展覧会は、予想を上回る観覧者を集め大成功を収めました。その後も毎年開催され、現在では日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で構成され、その規模は公募展として県下最大を誇ります。また所属会派を超えて出品されることから、石川県における美術の現在を知る絶好の機会となっています。

今年は3月30日(木)から4月16日(日)まで、石川県立美術館(日本画・工芸・書)と金沢21世紀美術館(洋画・彫刻・写真)の2会場で開催されます。展示作品は委嘱出品と一般公募から構成されており、委嘱出品の部では、出品委嘱作家(石川県美術文化協会会員)の作品が展示されます。一方、一般出品の部は、入選率5割という厳しい審査を経て選ばれた作品を展示するもので、展示の総点数は千点にもおよびます。

金沢展の後、県内の4会場を巡回しますが、巡回展は開催地ごとに地域の文化や産業をも反映した地域色豊かな展示内容となります。

当館では平成7年の開館以来、毎年6月に「現代美術展　七尾展」を開催しており、今年で23回目を数えます。「第73回現代美術展」出品作品の中から、石川県美術文化協会役員の作品、能登地区在住および出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品(能登地区各市長賞と能登地区ゆかりの作家のみ)、能登地区在住者の作品を選抜し、約250点の作品を紹介します。日本を代表する大家から、身近な作家の作品までをお楽しみください。

会期中、第3展示室の1室では「池田コレクション」を展示します。観覧料は「現代美術展」と共通料金です。

※ここでの能登地区とは宝達志水町以北をさします。

◇観覧料

	個人	団体
一般	500円	400円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

昨年の展示室の様子

◆ミュージアムグッズのお知らせ◆

受付のミュージアムショップコーナーでは、長谷川等伯作品のクリアファイルや、「松林図屏風」、「楓図」の一筆箋、絵はがき、色紙のほかにも毎年開催している長谷川等伯展の図録などを販売しています。

また、等伯をイメージしてつくられた「等伯香」は七尾市内でも販売していますが、友の会会員の方には割引販売をしています。是非、ご入り用の際は当館でお買い求めください。

そしてお子様向けとして、長谷川等伯のイメージキャラクター「とうはくん」のマスコットはいかが。当館スタッフもオススメです。

★クリアファイル
各350円 ～ 540円

★一筆箋　各300円

★等伯香　　1,000円
(友の会会員価格800円)

★とうはくんマスコット
500円

貸館催し物案内

アートホール

中能登奏友会　ユーフォニアム・テューバアンサンブルコンサート in 2017春

入場無料

5月14日(日)　開演　午後2時

金管低音楽器のユーフォニアム・テューバによる入場無料の演奏会です。2組のゲスト団体もお迎えし、大人から子供まで楽しめる、様々なジャンルの曲を演奏します。皆様気軽にお越しください‼

主　催　中能登奏友会
連絡先　荒川　☎090(3768)5608

若葉萌ゆるころ　シャンソンはいかが

入場無料

5月28日(日)　開演　午後2時30分

第4回やさしいシャンソン教室の発表会。シャンソンやカンツォーネ・日本の歌を皆様と共に楽しみたくアートホールの音と照明が盛りあげてくれます。若葉萌ゆる頃、シャンソンはいかが。

主　催　北國文化センター七尾教室
連絡先　藪内ようこ　☎090(2037)5237

鵬学園高等学校吹奏楽部　第1回定期演奏会

入場無料

6月11日(日)　開演　午後2時

部活動設立4年目となり、念願であった定期演奏会を開催することとなりました。どなたでも気軽にお越しください。ご来場をお待ちしております‼

主　催　鵬学園高等学校吹奏楽部
連絡先　浮田　☎0767(53)2184

第35回青柏民謡発表会　〝温習会〟

入場無料

6月18日(日)　開演　正午

芸能文化である民謡を伝承・発掘し、地域文化向上を目的として、会員の日頃の練習の成果を発表します。唄と踊り盛り沢山です。どうぞ、皆様お誘い合わせご来場ください。

主　催　青柏民謡会
連絡先　中西清一　☎0767(62)3178

エレクトーンフェスティバル　ミヤコ音楽堂大会　&ジュニアオリジナルミニコンサート2017

入場無料

6月25日(日)　開演　午後2時

エレクトーンフェスティバル北陸大会に出場する生徒を選出する大会と自分で作曲した曲を演奏するコンサートを同時に開催します。生徒みんなの練習の成果を披露します。是非お聴きください。

主催・連絡先　ミヤコ音楽堂　☎0767(53)0001

ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆっくりおくつろぎください。

《春のおすすめメニュ～》

【甘酒】　おかき付き(400円)

甘酒ブーム到来‼「飲む点滴」と言われるほど、美容や健康に良いと話題。ぜひご賞味ください。
※ノンアルコールです。

【よもぎ団子のお抹茶セット】(500円)

手作りのよもぎ団子に餡を添えました。
お抹茶のほろ苦さと、よもぎ団子の相性が絶妙です。

外の景色を眺めながらほっこりしませんか。

《期間4／22～6／25》

★友の会会員の皆様
会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10%割引になります。(10円未満切捨)

平成29年度 友の会 行事スケジュール

～みなさまのご参加をお待ちしております～

2017 4月	4月1日(土)	◆「美術館だより89号(春号)」発行
	4月21日(金)	◆「長谷川等伯展」開会式・内見会 無料ご招待
7月	7月1日(土)	◆「美術館だより90号(夏号)」発行 ◆「友の会オリジナルグッズ」プレゼント
	7月9日(日)	◆「かわいい加賀手まりづくり」開催 ※詳細は同ページ下方をご覧ください。
8月	8月5日(土)	◆「松本零士・牧美也子夫婦コラボ展」開会式・鑑賞 無料ご招待
10月	10月1日(日)	◆「美術館だより91号(秋号)」発行
	10月未定	◆「第18回友の会鑑賞の旅」開催 京都国立博物館「開館120周年記念 特別展覧会 国宝」を鑑賞予定
		◆山の寺の日「学芸員と一緒にお寺巡り(仮)」開催
11月	11月2日(木)	◆「2017イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式・鑑賞 無料ご招待
2018 1月	1月1日(月)	◆「美術館だより92号(冬号)」発行

※開催日程等は変更及び中止する場合がありますので、ご了承ください。

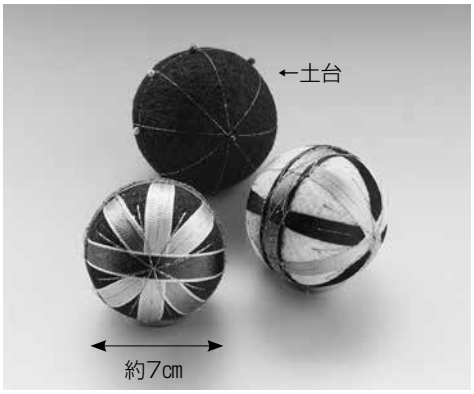
友の会美術講座「かわいい加賀手まりづくり」　対象：初心者から

徳川幕府第２代将軍秀忠の娘である珠姫が、加賀藩第３代藩主前田利常に輿入れした際、輿入れ道具とともに持参した華やかな「手まり」。以来、その制作は金沢の地で伝統工芸「加賀手まり」として大切に受け継がれてきました。

本講座は加賀手まりの制作体験講座です。初心者でも取り組みやすいように準備された土台を使い、「あめ玉」模様の手まりを完成させます。世界にひとつだけの加賀手まり作りを一緒に楽しみましょう。お気軽にご参加ください。

完成作品は当美術館で展示します。
（展示予定期間：7/11 ～ 7/30）

〈制作見本〉「あめ玉」



日　時…7月9日(日) 13：00 ～ 16：00
場　所…石川県七尾美術館
講　師…村本都氏(日本てまりの会教授)
定　員…先着10名
参加費…800円(材料代・税込み)
持ち物…メモ用紙、鉛筆
募　集…4月21日(土)より電話にて申込受付。
石川県七尾美術館　☎0767-53-1500
※非会員の方は、この機会にご入会ください。
（年度会費1,000円）

平成28年度新収蔵品紹介

平成28年度中、当館所蔵品として新たに加わった作品は次の6点。所蔵品の充実にご協力くださいました皆さま、本当にありがとうございました。（4月1日現在）

①洋画「追憶，96」　江守マリ子
平成8年（1996）制作　第28回改組日展

②洋画「刻の中で」　江守マリ子
平成12年（2000）制作
第54回女流画家協会展

③洋画「追想」　江守マリ子
平成18年（2006）制作　第68回一水会展
※①～③**江守マリ子氏より寄附。**

④彫刻「観世音」　吉田秀鵬
昭和54年（1979）頃制作

⑤陶磁「深厚釉壺」　三代徳田八十吉
昭和時代（1980年代）制作

⑥陶磁「三彩釉壺」　三代徳田八十吉
昭和時代（1980年代）制作
※④～⑥**清水宏司氏より寄附。**

「刻の中で」　江守マリ子

「三彩釉壺」三代徳田八十吉

当館収蔵品貸出情報（4月1日現在）

①絵画「印鑰明神垂迹図」　1幅
印鑰神社（七尾市）蔵

②絵画「三千仏画像」　1幅
印鑰神社（七尾市）蔵

③絵画「海棠に雀図」　1幅
長谷川信春（等伯）筆　個人蔵

④絵画「白描涅槃図」　1幅
長谷川等誉筆　成蓮寺（七尾市）蔵

⑤典籍「賦何船連歌」　1巻
七尾市蔵

⑥書跡「前田利家黒印状」　1枚
龍門寺（七尾市）蔵

会　場　石川県立美術館（金沢市出羽町2―1）
☎076（231）7580

展覧会　石川県文化財保存修復工房設立20周年記念
「よみがえった文化財
―未来へつなぐ文化財保存と修復のわざ―」

会　期　4月22日（土）～5月28日（日）

貴重な文化財を修復し後世に伝えることを目的として、平成9年にオープンした石川県文化財保存修復工房。本展は工房開設20周年を記念して「修復事業」に着目、数々の名品展示をとおして文化財の保護に手厚かった加賀藩の業績や、修復工房の20年にわたる歩みなどを紹介します。

※展覧会詳細は石川県立美術館までお問い合わせください。

「海棠に雀図」
長谷川信春（等伯）筆
個人蔵

■石川県能登島ガラス美術館　平成29年度　展覧会情報

①企画展「板ガラスの表現
～ひろがるかたち、無限の可能性～」
会期　4月15日（土）～7月9日（日）

②特別展「BODY／DRESS」
会期　7月15日（土）～10月22日（日）

③能登島ガラスコレクション
「新収蔵品展　～ガラスのカタチ～」
会期　10月28日（土）～平成30年4月頃

※展覧会詳細は能登島ガラス美術館までお問い合わせください。☎0767（84）1175

ボランティアさん募集♪

現在43名の皆さんが楽しく、無理なく活動しておられます。お客様が鑑賞しやすいように目配りしていただき、時にはマナーについての声掛けなどもしていただいています。

興味・関心のある方、どうぞお気軽にお問い合わせください。

活動場所：七尾美術館展示室内
活動時間：9時～13時、13時～15時
（半日交替）

これからの展覧会予定

平成29年７月１日(土) ～ 30日(日)

◆第１・2展示室
「池田コレクション、いきます!」

平成７年の開館以来、当館所蔵品を語るうえで欠かせない存在である「池田コレクション」。七尾市出身の実業家・池田文夫氏(1907 ～ 87)により育まれた、多彩な品ぞろえの美術工芸品群です。本展では「池田コレクション」287点より、工芸や絵画など約60点を幅広く紹介します。

※掲載作品は全て「池田コレクション」です。

「朽木菊花文皿」

「黄瀬戸盃」

「美人居眠図」礒田湖龍斎

平成29年８月５日(土) ～９月18日(月・祝) 【9/4,11休館】

◆第１・２・３展示室
銀河鉄道999作者と初代リカちゃん人形監修者
「松本零士・牧美也子夫婦コラボ展」

日本の少年少女に夢と感動を与えた、SF漫画の巨匠・松本零士。代表作の一つ「銀河鉄道999」は、今年誕生から40年を迎えました。一方、牧美也子は少女漫画家として人気を博し、初代リカちゃん人形の監修なども手掛けて活躍しました。本展では２人の直筆原画やセル画など、約250点を展覧します。

《関連イベント予定》
●初日松本氏のトーク＆ライブペインティング●ぬりえ
●絵ハガキプレゼント●撮影コーナーでメーテルになりきろう♪

③

①

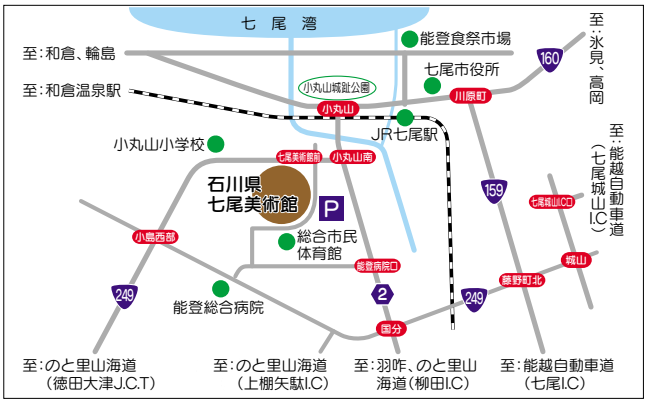
②

①「メーテル-旅立ちの時」ⓒ松本零士
②「帰還」ⓒ松本零士
③「マキの口笛」ⓒ牧美也子

割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット FREE SPOT ブロードバンド・オアシス

エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fi スポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



●飛行機…のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分 ●車…「のと里山海道」徳田大津JCTから約15分又は「能越自動車道」七尾城山IC又は七尾ICから約10分 ●タクシー…JR七尾駅から約5分
●徒歩…JR七尾駅から約20分 ●市内循環バス「まりん号」…JR七尾駅前「ミナ.クル」バス停から「七尾美術館前」下車(順回り約8分・逆回り約14分、１日各8便) ●ななおコミュニティバス「ぐるっと7」…JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台１丁目」下車(西コース約10分、１日4便)

◎次号・第90号(夏号)は７月１日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2017 4 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5 MAY

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

6 JUNE

◆４月～６月カレンダー◆ ※■は休館日
◆開館時間◆ 午前９時～午後５時
(入館は午後４時30分まで)

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台一丁目１番地
TEL(0767)53-1500 ／ FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp